



情勢に即した試みを積極活用

一般社団法人管路診断コンサルタント協会 会長 山崎 義広

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響により、協会活動ではウェビナー形式を取り入れた技術講習会などの開催を試みました。

今期より当協会では管口・マンホール点検用カメラ（管診鏡）の取り扱いを始め、民間企業や下水道管理

者などに対し広く提供いたします。さらに、昨年10月に発刊した「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託標準歩掛（案）（高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検編）」の利活用も含め管診鏡のプラットフォームの役目を担う所存です。

重要な社会インフラである下水道は、人口減少社会の到来、施設の老朽化、災害対応などさまざまな課題

を抱えております。管路診断コンサルタント協会は、協会の皆さまとともに管路分野のみならず下水道システムのストックマネジメントの健全な発展に貢献してまいります。

本年も引き続き変わらぬご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。